

- 問1 自由民権運動の展開に関連した次の3つの出来事を、発生した時期が古いものから順に並べたものとして正しいものはどれですか。①板垣退助を党首とする「自由党」が結成される。②「民撰議院設立の建白書」が政府に提出される。③「大日本帝国憲法」が發布される。 (2020年 岐阜県公立入試 類似)
1. ① → ② → ③ 2. ② → ③ → ① 3. ② → ① → ③ 4. ③ → ① → ②
-
- 問2 日清戦争後に締結された下関条約に関連して、朝鮮半島の付け根に位置する遼東半島の返還を日本が受け入れた理由として正しいものはどれですか。 (2018年 長崎県公立入試 類似)
1. ロシア、ドイツ、フランスによる「三国干渉」という外交的な圧力を受けたため 2. ポーツマス条約の締結により、賠償金の代わりに領土を返還することが決まったため 3. アメリカの仲介により、東アジアの平和を維持するために自主的に返還したため 4. 清との間で、台湾と遼東半島を交換する新たな条約を結んだため
-
- 問3 明治時代初期の教育政策に関連して、岩倉使節団に同行した女子留学生の役割や、その一人である津田梅子の活動について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2024年 徳島県公立入試 類似)
1. 日清戦争の賠償金を活用して、女子の識字率を向上させるための義務教育制度を全国に普及させる役割を担った。 2. 青鞾社を設立し、「元始、女性は太陽であった」という宣言を発表することで、女性解放運動を主導した。 3. 「たけくらべ」などの文学作品を通じて、当時の社会情勢や女性の哀しみを描き、近代文学の発展に寄与した。 4. 日本の近代化を進めるため、欧米の教育や生活習慣を学び、帰国後に女子教育の振興に役立てることを期待されていた。
-
- 問4 明治時代、栃木県の足尾銅山から有害な物質が渡良瀬川に流れ出し、下流域の農漁業や住民の健康に深刻な被害を及ぼした日本初の公害事件が発生しました。この事件に対して、衆議院議員を辞職してまで明治天皇に直訴を行い、被害農民の救済と問題解決のために生涯を捧げた人物の名前を答えなさい。 (2023年 奈良県公立入試 類似)
1. 新渡戸稲造 2. 大久保利通 3. 田中正造 4. 板垣退助
-
- 問5 2015年にユネスコの世界文化遺産に登録された「明治日本の産業革命遺産」について、その構成資産が含まれる都道府県の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2017年 埼玉県公立入試 類似)
1. 岩手県、広島県、長崎県、鹿児島県 2. 山形県、山口県、兵庫県、福岡県 3. 岩手県、愛知県、大阪府、鹿児島県 4. 岩手県、静岡県、山口県、鹿児島県
-
- 問6 明治時代後半から大正時代にかけて見られた「ロマン主義」の動向について、当時の代表的な人物とその活動を正しく説明しているものはどれですか。 (2016年 愛媛県公立入試 類似)
1. 野口英世が、個人の才能を最大限に発揮するために、アメリカで感染症の研究と文学活動を両立させた。 2. 与謝野晶子や樋口一葉らが、個人の感情や個性を尊重した作品を発表し、新しい文学の先駆けとなった。 3. 島崎藤村が、社会の暗部や人間の本能を冷徹に見つめることで、合理的な社会の実現を目指した。 4. 坪内逍遙が、ありのままの現実を客観的に描写する技法を確立し、武士道の精神を説いた。
-
- 問7 19世紀末から20世紀初頭にかけての日本の文化について、夏目漱石の活動とその背景について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2024年 東京都公立入試 類似)
1. フランスのパリへ留学して印象派の絵画を学び、帰国後に『湖畔』などの西洋画を発表した。 2. ドイツのベルリンへ留学して医学を学ぶ傍らで西洋文学に親しみ、帰国後に『舞姫』などの小説を執筆した。 3. アメリカに渡って細菌学の研究に励み、黄熱病の研究などで世界的に知られる医学者となった。 4. 日英同盟を結んだイギリスのロンドンへ留学して英文学を学び、帰国後に『吾輩は猫である』などの小説を執筆した。
-
- 問8 明治時代の貿易統計において、1890年代に綿糸の国内生産量と輸出量が急増していた時期の状況について、正しく述べたものはどれですか。 (2017年 滋賀県公立入試 類似)
1. 綿糸の輸出を増やすため、政府は民間の紡績工場をすべて官営化した。 2. 国内の紡績業が発展したため、イギリスからの綿織物の輸入が完全に途絶えた。 3. 綿糸の輸出量が増える一方で、原料となる綿花の輸入量も増加した。 4. 綿糸の輸出超過と同時に、生糸の輸出が完全に停止した。
-
- 問9 1880年代の明治政府において、外務卿の井上馨を中心に行われた、欧米の生活様式を積極的に取り入れることで日本の近代化を対外的にアピールしようとした政策を何といいますか。 (2016年 佐賀県公立入試 類似)
1. 殖産興業政策 2. 富国強兵 3. 文明開化 4. 欧化政策
-
- 問10 1904年から1905年にかけて行われた日露戦争が起こった背景について、当時の国際情勢を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2016年 大分県公立入試 類似)
1. 日本が清との日清戦争に勝利した後、ロシアがフランス・ドイツとともに遼東半島の返還を要求したことが直接の開戦原因となった。 2. 第一次世界大戦の最中にロシア国内で革命が起こり、その混乱に乗じて日本がロシア領内への侵攻を開始した。 3. ロシアが清から獲得した遼東半島を日本が武力で占領したため、ロシアが日本に対して宣戦布告した。 4. 朝鮮半島や満洲への進出を図る日本と、南下政策によって東アジアへの影響力を強めようとしたロシアの利害が衝突した。
-
- 問11 1894年、朝鮮半島で減税や排外主義を掲げる大規模な農民の蜂起が発生し、これをきっかけに日本と清が朝鮮への出兵を決定したことで日清戦争へと発展しました。この契機となった出来事の名称を選びなさい。 (2019年 神奈川県公立入試 類似)
1. 甲申事変 2. 壬午軍乱 3. 東学農民戦争 4. 義和団事件
-
- 問12 明治政府が岡岡製糸場を「官営模範工場」として設立した目的や役割として、最も適切な説明はどれですか。 (2023年 福岡県公立入試 類似)
1. 軍事力を強化するために、鉄鋼の生産や軍艦の建造を自国で行えるようにするため 2. 伝統的な手工業を保護し、農村の家内工業が衰退するのを防ぐため 3. 西洋の機械や技術を導入し、日本各地の製糸業の近代化を指導・促進するため 4. 国内で不足していた衣料品を確保するため、海外から綿花を輸入して加工するため
-
- 問13 日露戦争後、ポーツマス条約の締結をめぐって大規模な暴動が発生した理由として、当時の社会状況をふまえた説明として最も適切なものはどれですか。 (2025年 北海道公立入試 類似)
1. 日清戦争時の下関条約に比べて、獲得した割譲地が少なすぎて経済的な利益が見込めなかったため 2. 講和条約によって獲得した領土を、他国からの干渉によってすべて放棄することになったため 3. 戦争に勝利したにもかかわらず、韓国における日本の優先権が全く認められなかったため 4. 戦費が膨大になり特別税が課されるなど国民が負担を強いられたが、賠償金が得られなかったため

答え合わせ・解説

問1	答え 3 ② → ① → ③	自由民権運動は、まず1874年に板垣退助らが「民撰議院設立の建白書」を提出したことから始まります。その後、運動の組織化が進み、1881年に日本初の政党である「自由党」が結成されました。政府はこうした動きに対し、1889年に「大日本帝国憲法」を發布し、翌年には第1回衆議院議員総選挙を実施して、立憲制の形を整えました。
問2	答え 1 ロシア、ドイツ、フランスによる「三国干渉」という外交的な圧力を受けたため	ロシアは自国の南下政策を推し進める上で、日本が大陸の拠点である遼東半島を領有することを強く警戒しました。そのため、ドイツとフランスを伴って日本に返還を迫りました。当時の日本にはこれら3国を相手に戦う国力がなかったため、要求を受け入れざるを得ませんでした。
問3	答え 4 日本の近代化を進めるため、欧米の教育や生活習慣を学び、帰国後に女子教育の振興に役立てることを期待されていた。	明治政府は、欧米諸国に対抗できる近代国家を築くためには、家庭教育を担う女性にも高い教養が必要であると考え、岩倉使節団に女子留学生を同行させました。津田梅子はこの期待に応え、帰国後、私立の女子英学塾を創設して女子専門教育の先駆けとなりました。他の選択肢については、樋口一葉は文学、平塚らいてうは女性解放運動での功績であり、岩倉使節団の留学生としての活動とは異なります。
問4	答え 3 田中正造	明治政府が富国強兵を優先し、外貨獲得のために銅の生産を強行する一方で、周辺住民の生活環境は著しく破壊されました。田中正造は、議会での質問だけでなく、命がけの天皇への直訴という手段を通じて、公害問題に対する国家の責任を厳しく追及し続けました。この活動は、日本における環境運動の先駆けとなりました。
問5	答え 4 岩手県、静岡県、山口県、鹿児島県	明治日本の産業革命遺産は、幕末から明治時代にかけての重工業（製鉄・製鋼、造船、石炭産業）の発展を示す23の資産で構成されています。これらは岩手県（橋野鉄鉱山）から鹿児島県（旧集成館）まで、静岡、山口、佐賀、長崎、福岡、熊本を含む全国8県にまたがっています。広島県や兵庫県、愛知県などはこの遺産の構成資産を持つ県には含まれません。
問6	答え 2 与謝野晶子や樋口一葉らが、個人の感情や個性を尊重した作品を発表し、新しい文学の先駆けとなった。	ロマン主義の時期には、歌集『みだれ髪』で知られる与謝野晶子や、『たけくらべ』を著した樋口一葉といった女性作家が活躍しました。彼女たちは、それまでの伝統的な枠組みにとらわれず、個人の内面や感情を豊かに表現することを目指しました。
問7	答え 4 日英同盟を結んだイギリスのロンドンへ留学して英文学を学び、帰国後に『吾輩は猫である』などの小説を執筆した。	夏目漱石は1900年から1903年までイギリスに滞在しました。当時の日本は、ロシアの南下政策に対抗するためにイギリスとの接近を図っており、1902年には日英同盟を締結しています。漱石はロンドンでの孤独な研究生活を経て帰国し、英文学者としての知識と海外での実体験を背景に、日本独自の近代小説のスタイルを確立しました。
問8	答え 3 綿糸の輸出量が増える一方で、原料となる綿花の輸入量も増加した。	紡績業の発展により綿糸の国内生産が盛んになると、その原料である綿花の需要が高まり、輸入量が増大しました。政府は1896年に綿花の輸入関税を撤廃して、紡績業の国際競争力を高める支援を行いました。一方で、生糸は依然として日本の最大の輸出商品であり続けており、貿易構造が多角化していく過程にありました。
問9	答え 4 欧化政策	明治政府は、幕末に結ばれた不平等条約の改正を悲願としていました。このため、日本が欧米に引けを取らない近代的な文明国家であることを諸外国に示す必要があり、西洋の生活習慣やマナーを導入する政策がとられました。この一連の動きを欧化政策と呼びます。明治初期の自然な文化流入を指す「文明開化」とは、政府による意図的な政策であるという点で区別されます。
問10	答え 4 朝鮮半島や満洲への進出を図る日本と、南下政策によって東アジアへの影響力を強めようとしたロシアの利害が衝突した。	日露戦争の主な要因は、東アジアにおける勢力圏の拡大をめぐる争いです。ロシアは不凍港を求めて南下政策を推進し、満洲への軍隊駐留を続けました。これに対し、朝鮮半島における権益確保を重視する日本が強く反発し、イギリスとの日英同盟（1902年）を背景にロシアとの戦争に踏み切りました。
問11	答え 3 東学農民戦争	朝鮮半島の宗教団体である「東学」の信徒を中心とした農民が、重税の廃止や外国勢力の排除を求めて起こした反乱です。朝鮮政府が清に援軍を要請したのに対し、日本も公使館保護などを名目に出兵したことが、日清戦争の直接的な原因となりました。
問12	答え 3 西洋の機械や技術を導入し、日本各地の製糸業の近代化を指導・促進するため	明治政府は、単に利益を上げるためだけでなく、西洋の進んだ機械製糸技術を全国に普及させるための「手本（模範）」としてこの工場を設置しました。全国から集まった女性たちがここで技術を習得し、故郷に戻ってその技術を伝えたことで、日本全体の製糸技術が向上しました。
問13	答え 4 戦費が膨大になり特別税が課されるなど国民が負担を強いられたが、賠償金が得られなかったため	日露戦争では、日清戦争をはるかに上回る戦費が投入され、政府はそれをまかなうために特別税を新設して増税を行いました。国民は生活の苦しさに耐えながら戦争を支えましたが、ポーツマス条約で賠償金が一切得られなかったため、その犠牲が報われないと感じた国民の不満が暴動につながりました。なお、「領土放棄」は下関条約後の三国干渉に関連する内容であり、本件とは異なります。